

～白井貴子さんからのお手紙～

「みんなで茅を刈ろう！」私の故郷、神奈川県の観光PRのお手伝いで長野入りしていた時のことです。「白井さん、そういえば藤沢の方ですよ！今、藤沢の茅葺き屋根を吹き替えている長野の茅葺職人の番組を制作しているんです」

そう信越放送の方からお声がけいただき「とうちゃんは茅葺師」という番組のナレーションをやらせていただいたことが、小谷村の皆さんとのご縁の始まりでした。

5月茅場の野焼きが終わると、数日で眩いばかりの緑の絨毯を敷き詰めたかのような美しい大地からすくすく伸びるゼンマイや蕨。それをせつせと人間が摘み取りいただくことで、より良い茅が成長する！と教えてもらい私は甚く感動しました。

私はこれまで「人は自然にとっては厄介な邪魔者で、ただただダメにするだけの存在」だと思っていたからです。「茅刈りの作業に参加させてもらうことで、私も自然の循環の輪の中に入れてもらうことができる！人間はこの暮らし、循環の輪から離脱したことで、どこかおかしくなってしまったんじゃないか！？」と大きな感動と喜びをいただきました。

そして、ふと以前、キャンピングカー乗りの方から「僕たちはとにかくクルマ旅が大好きだから、日本全国どこへでも行くんです！

先日は北海道の浜で、高齢の昆布漁をやっているご夫婦の昆布を浜に引き揚げるお手伝いをやらせてもらってそこで車中泊させてもらいました！」と言われていたお話を思い出し、「もしやお声がけしたら、みんな茅刈りに来てくれるかも知れない！？」そう思い早速連絡！「それはいいですね！」と快諾をいただき、今回のイベントへとお話がグイグイと進んで行きました。

「小谷屋根」の親方、松澤朋典さんの「茅刈りと茅葺き屋根」のお話も、5日私の野外ライブでは是非お伺いしたいと思っています。そして持つべきものは「エコ仲間！」ステージは太陽のエネルギーでライブできるソーラートラックも到着です！

私にとってはさらに驚き！昔の音楽仲間がなんと小谷村に住んでいてロッジを営んでいました。そんな驚きの再びのご縁もあり、私の「PEACE MAN CAMP」としては3日その友の宿「椈」でのライブ&ディナーからのスタートになりますが、キャンピングカー乗りの皆さんとは5日合流！最終日6日の朝、松澤親方の指導の下みんなで茅を刈る壮大な地球サイズのイベントになります！

今回、開催にあたりご協力くださいました多くの地元の皆さん！本当にありがとうございます。「みんなで茅を刈りましょう！」そして「自然の輪の中の一員に入れてもらいましょう！」沢山の皆さんのご参加とご賛同を心よりお待ちしております。